

令和3年6月 発地別延べ宿泊者数割合

(単位：人泊、%)

【国内】

	県内	福岡県	その他九州	四国	中国	近畿	中部	関東	東北・北海道	国内計
令和3年6月(速報値)	27,406	45,329	21,788	1,808	5,779	8,837	3,427	17,478	897	132,749
令和2年6月(速報値)	31,330	39,443	17,408	1,891	6,489	9,233	4,405	12,678	1,226	124,103
前年同月比	87.5	114.9	125.2	95.6	89.1	95.7	77.8	137.9	73.2	107.0
2019年6月(確報値)	48,562	81,860	52,271	7,915	24,179	24,069	12,327	43,202	4,964	299,349
2019年同月比	56.4	55.4	41.7	22.8	23.9	36.7	27.8	40.5	18.1	44.3
2018年6月(確報値)	48,895	77,437	49,362	7,683	18,843	19,836	9,375	39,167	4,554	275,152
2018年同月比	56.1	58.5	44.1	23.5	30.7	44.6	36.6	44.6	19.7	48.2
令和3年5月(速報値)	27,855	51,226	21,562	2,401	8,448	10,741	5,421	21,928	1,743	151,325
前月比	98.4	88.5	101.0	75.3	68.4	82.3	63.2	79.7	51.5	87.7

【国外】

	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他アジア	欧米豪その他	外国小計
令和3年6月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	600
令和2年6月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	1,177
前年同月比	*	*	*	*	*	*	*	51.0
2019年6月(確報値)	38,808	6,062	7,502	10,906	1,601	2,396	2,995	60,099
2019年同月比	*	*	*	*	*	*	*	1.0
2018年6月(確報値)	37,881	7,128	6,008	9,245	573	2,111	2,036	64,982
2018年同月比	*	*	*	*	*	*	*	0.9
令和3年5月(速報値)	*	*	*	*	*	*	*	487
前月比	*	*	*	*	*	*	*	123.2

* 令和2年、令和3年発地別宿泊者数は、サンプル数が過小のため表示しない

【全体】

	合計
令和3年6月(速報値)	133,349
令和2年6月(速報値)	125,280
前年同月比	106.4
2019年6月(確報値)	359,448
2019年同月比	37.1
2018年6月(確報値)	340,134
2018年同月比	39.2
令和3年5月(速報値)	151,812
前月比	87.8

①R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。
この変更に伴い、R2年、2019年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。
※発地別延べ宿泊者数は、速報の公表時に大きく変更されることがあります。

出典：大分県観光統計調査

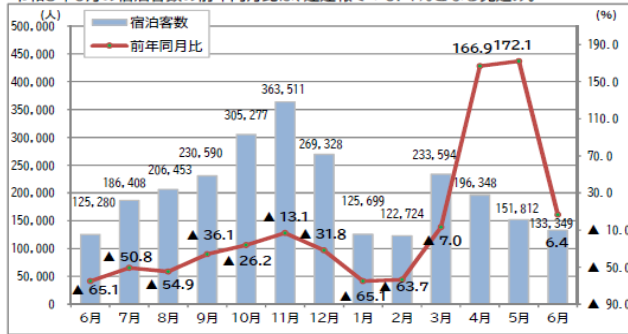
<傾向・分析>

- 国内の延べ宿泊者数は前年同月比107.0%。新型コロナウイルス感染症発生後初めての緊急事態宣言が全国で解除となった昨年6月に比べると微増。一方、前々年同月比は44.3%、前前々年同月比は48.2%といずれも半数以下となっており、コロナ禍前の状況からは依然戻っていないことがわかる。
- 国内の延べ宿泊者数の前月比は87.7%。5月に比べると感染者数は若干落ち着いていたが、10都道府県において6月20日まで緊急事態宣言が延長、9都道府県にて宣言解除後も、東京や大阪などの7都道府県ではまん延防止等重点措置がとられる。県内については、6月10日にステージ2へ引き下げ、6月14日から「新しいおいた旅割」が再開となったが、宿泊者数は前月比98.4%と微減。全国・県内共に、6月に入り感染状況は落ち着いていたが、大型連休のあった5月に比べ宿泊者数は減少している。
- 国外の延べ宿泊者数は、前々年同月比1.0%、前前々年同月比0.9%と依然として戻らず、新型コロナウイルスの影響で入国制限が依然として続いている。
- 全体の延べ宿泊者数は前年同月比106.4%。コロナ禍前の前々年同月比は37.1%、前前々年同月比は39.2%と、いずれも半数以下となる。

令和3年6月の宿泊客等の動向 (令和2年6月～12月速報、令和3年1月～6月速速報)

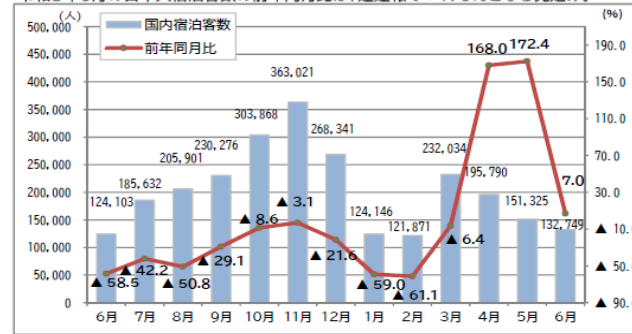
(1) 宿泊客の動向

令和3年6月の宿泊客数の前年同月比は、速速報で+6.4%となる見込み。



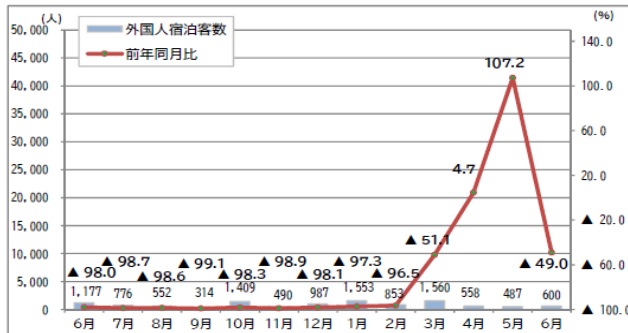
(1) ①日本人宿泊客の動向

令和3年6月の日本人宿泊客数の前年同月比は、速速報で+7.0%となる見込み。



(1) ②外国人宿泊客の動向

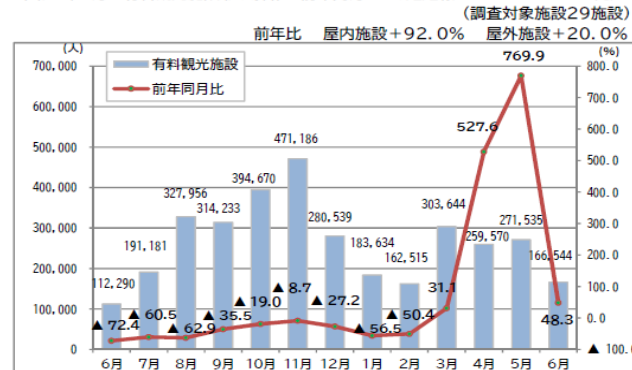
令和3年6月の外国人宿泊客数の前年同月比は、速速報で-49.0%となる見込み。



※R3年1月調査から、宿泊客数調査の対象を従業員数10人以上の全施設(186施設)に変更しました。この変更に伴い、R2年の公表値についても同規模施設数の推計値に再計算しています。

(2) 有料観光施設(入場客)の動向

令和3年6月の有料観光施設(入場客)の前年同月比は、速速報で+48.3%となる見込み。



※観光施設の対前年比は、休業業・未提出施設を除いて算出しているため、過去に公表している値と比較すると一致しない場合があります。

出典：大分県観光統計調査

<傾向・分析>

- 日本人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が解除された昨年6月から徐々に回復、GoToトラベルキャンペーン実施に伴い増加するも、秋頃からの感染者数の増加、12月にGoToトラベルの一時停止や1月には一部地域に緊急事態宣言が発令されたことなどにより再び減少に転じる。その後、3月に緊急事態宣言の全面解除や、県民向け「新しいおおいた旅割」等の影響で増加したが、4月に入り全国で感染者数が増加、全国各地で「まん延防止等重点措置」の適用や緊急事態宣言が発令され、5月も更に拡大・延長し、6月まで宣言は延長。6月20日に9都道府県にて緊急事態宣言が解除されたものの、7都道府県では引き続きまん延防止等重点措置がとられ、増加には及ばなかった。
- 有料観光施設の動向については、初めての緊急事態宣言が解除された直後の前年6月に比べると148.3%と増加。一方、大型連休のあった同年前月に比べると減少している。
- 外国人宿泊客は、新型コロナウイルス感染症の影響で海外渡航制限等の措置が取られ、令和2年4月以降観光客数はほぼゼロとなり、令和3年6月まで続いている。
- 全体においては、インバウンドの回復がない中、国内宿泊者の動きがそのまま反映されたかたち。